

機能診断記録

(記載例)

施設区分： 農用地			整備年度： 昭和61年（防護柵はH2に設置）		
施設名： ー			地区・区間等：〇〇集落地内		
機能診断			修復履歴		
実施時期 (年月日)	診断結果	診断担当者	修復場所	実施時期 (年月日)	作業内容
H16.11.8	異常なし	〇〇〇〇			
H17.11.17	法面の一部に小規模な侵食あり[計3箇所、幅20cm程度の大きさ]	〇〇〇〇	字〇〇内	H17.11.26	侵食部分に土を補充し整形
	鳥獣害防護柵の断線が一部あり[2箇所]	〇〇〇〇	字〇〇内	H18.3.22	断線箇所の修復

施設区分： 開水路			整備年度： 昭和58年		
施設名： 〇〇〇〇水路			地区・区間等： ー		
機能診断			修復履歴		
実施時期 (年月日)	診断結果	診断担当者	修復区間等	実施時期 (年月日)	作業内容
H16.11.8	目地部分が一部開いている[〇〇分水ゲート～△△分水ゲートの範囲]	〇〇〇〇	〇〇分水ゲートから、 〇〇分水ゲートまで	H17.3.20	モルタルを充填材とした目地詰めを実施
				H17.3.22	
H17.11.17	一部分にはらみあり[〇〇分水の下流に約30mの場所の2m程度の範囲]	〇〇〇〇	〇〇分水ゲートから、 下流に約〇〇m	H17.11.26	側壁背面の過剰な土を取り除き、側壁を適正位置に再設置
	目地部分が一部開いている[△△分水ゲート～△△分水ゲートの範囲]	〇〇〇〇	△△分水ゲートから、 △△分水ゲートまで	H18.3.18 H18.3.20	モルタルを充填材とした目地詰めを実施